

# 留学体験レポート

国際学部 2年 伊藤充来

## 1 はじめに

私は、アメリカのセントラルミズーリ州立大学に約3か月間留学をしてきました。留学に参加した目的は、語学力の向上、異文化体験、自身の成長です。このレポートでは、アメリカでの生活、授業、課外活動について紹介します。

## 2 アメリカでの生活

アメリカでの生活で印象に残っていることは3つあります。1つ目は、食事です。食事は、学内に設備されている3つの食堂を自由に利用することができます。その食堂では様々な料理が提供されていました。ピザやハンバーガーはもちろん、アイスクリームやチャーハンのようなものもありました。飲料も種類が豊富で、飲み放題でした。リンゴやバナナに関してはそのまま置いてありました。私のおすすめはポテトとドクターペッパーです。2つ目は、人間です。当たり前ですがいろんな国の人がたくさんいました。その人たちの見た目や服装や会話などを観察するのは面白かったです。水泳帽のようなものをかぶっている黒人が印象的でした。おそらく現地での流行です。3つ目はルームメイトです。私は非常にたくさんの迷惑をルームメイトにかけましたが、彼の寛大さに何度も助けられました。いろんなことを語り合い、ランニングやバスケット、夜中のコンビニや、スケボー、洋服づくりや、買い物など、時には衝突もありましたが、私が留学期間を楽しく過ごせたのは間違いなく彼のおかげです。共に乗り越えたこの3か月間は一生の宝物です。

## 3 授業について

授業は、最初にクラス分けをして、自分に合ったクラスで授業を受けられます。私のクラスには日本人のほかに様々な国の人がありました。1番印象的だったのは、インド人です。彼は自己主張がとても強く、授業でも1番積極的でした。たとえ答えが間違っているも大きな声で発言していて、感心しました。たまに先生よりも声が大きかったです。また、先生に頼んで他の分野の授業も受けることができました。私はルームメイトの紹介で、ファッションの授業を受けることができました。その授業では、より専門的な授業はもちろん、現地の学生の授業態度も見ることができました。授業中にナゲットを食べていた生徒が印象的で、日本よりも自由な授業だなと感じました。

## 4 課外活動について

私の印象的な課外活動は2つあります。1つ目はサッカーです。ほぼ毎日夕方の6時半頃になると、学内の運動場でいろんな国の人たちが集まり、サッカーをします。1人も知

り合いはいませんが、そこに行くのと混ぜてもらえました。人種やサッカーのうまさに関係なくみんなで一緒にサッカーをして仲良くなったのは貴重な体験でした。2つ目はニューヨークです。サンクスギビングという期間中にニューヨークへ行きました。平日でも異常な人の多さで賑わっていて、強く都会を感じました。ニューヨークにはいろんな店があり、どんなに歩いても疲れを感じず、飽きませんでした。気づいたら5日間で130キロ歩いていました。ニューヨークで一番感動したことはラーメンです。ニューヨークに日本のラーメン屋さんがあり、味噌ラーメンとライスと餃子3つで1300円のセットを食べました。しばらく日本食を食べていなかったのでも感動しました。世界の中心の大都会で日本食の活躍を実感できて嬉しかったです。

#### 5 おわりに

アメリカ留学という貴重な経験をさせてくれた新潟国際情報大学、両親、そして現地での生活を支えてくれたルームメイト、一緒に留学したみんな、優しく助けてくれた先生方、その他今回の留学に関わったすべての人に感謝します。また、今後アメリカ留学を希望している後輩の方々の健闘を祈ります。

